

第9回日展

第3科（彫刻） 審査所感

審査主任 山田朝彦

第9回日展は、数年来続くコロナ禍を経て、社会が前向きに動き出すなかでの開催となりました。会員、出品者はもとより、日展を支えてくださる多くの方々の願いが開催への力強い原動力となりましたことを心から喜び感謝申し上げます。

今年の第3科彫刻一般出品数は85点、そのうち入選は66点でした。初入選が11点、特選は7点を厳選しました。中でも初入選で特選を果たした若い出品者があったことは特筆すべきことです。毎年出品者の減少はあるものの、初入選が11人あったことは、日展の未来の希望の光と感じました。

出品作品はいずれも誠実に制作された意欲的な大作が多く、充実した鑑審査となりました。審査にあたっては、厳正かつ公正を心掛け、誠意をもって丁寧に審査を進めました。

全体的に堅実な具象を追求する作品が多い中、独自の表現を試みる作品もあり、次世代への力強いエネルギーを感じることができたことは、喜ばしいことでした。

搬入数	85点
入選数	66点
(内新入選)	11点